

[様式5-2]

財団法人 大学基準協会

2009（平成21）年度「大学評価」申請用  
大学基礎データ

宮 崎 公 立 大 学

## 大学基礎データ作成上の注意事項

- 1 「大学基礎データ」は、原則として「大学評価」申請**前年度**の5月1日現在のデータで作成してください。ただし、各表の注において作成年に関する指示がある場合は、その指示に従って作成してください。  
**本様式は、2009（平成21）年度申請用に作成していますので、特に注記がない場合、2008（平成20）年5月1日が作成標準日となります。**
- 2 「大学基礎データ」は、A4判で作成してください。全体に通しページを付し、目次を作成してください。
- 3 表紙には、申請年度と大学名を明記してください。
- 4 専任教員に関するデータの作表にあたっては、「IV 教員組織 1 全学の教員組織（表19）」を基本とし、同表に専任として記載した学部、大学院研究科等ごとにその後の表を作成してください。
- 5 「IV 教員組織 2 専任教員個別表（表20）」が大部になる場合は、「大学基礎データ」と別冊にしても結構です。
- 6 「専任教員の教育・研究業績」については大学・学部等の固有の業績一覧の提出を原則とします。大学で固有の業績一覧を作成していない場合は、本「大学基礎データ（様式）」の（表24）および（表25）を参考に作表してください。  
また、この業績一覧は、「大学基礎データ」とは別冊にしてください。
- 7 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 8 該当しない表がある場合は、その表のタイトルと表番号のみを記入し、「該当なし」と注記してください。なお、作成しない表があっても各表の右上に付された表番号は変更しないでください。  
**【例】 「7 国家試験合格率（表9）」**  
    該当なし
- 9 各表において、記入すべき数値が無い場合は、空欄とせず、「-」（ハイフン）を記入してください。
- 10 各表に付されている脚注は消去しないでください。

なお、本「大学基礎データ」（様式）は、大学基準協会のホームページ（<http://www.juaa.or.jp>）から入手できます。

# 目 次

	頁
<b>I 教育研究組織</b>	
1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2008年5月1日現在) (表1)	1
2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2009年4月1日現在) (表2)	2
<b>II 教育内容・方法等</b>	
1 開設授業科目における専兼比率 (表3)	3
2 単位互換協定に基づく単位認定の状況 (表4)	5
3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況 (表5)	6
4 卒業判定 (表6)	7
5 大学院における学位授与状況 (表7)	8
6 就職・大学院進学状況 (表8)	9
7 国家試験合格率 (表9)	10
8 公開講座の開設状況 (表10)	11
9 学生の国別国際交流 (表11)	12
10 教員・研究者の国際学術研究交流 (表12)	13
<b>III 学生の受け入れ</b>	
1 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移 (表13)	14
2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数 (表14)	16
3 学部の入学者の構成 (表15)	17
4 学部・学科の退学者数 (表17)	18
5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数 (表18)	19
6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数 (表18-2)	20
7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移 (表18-3)	21
8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移 (表18-4)	22
<b>IV 教員組織</b>	
1-1 全学の教員組織 (表19)	23
1-2 学部の教員組織 (表19-2)	24
1-3 大学院研究科の教員組織 (専門職大学院を除く) (表19-3)	25
1-4 専門職大学院の教員組織 (表19-4)	26
1-5 事務組織 (表19-5)	27
2 専任教員個別表 (表20)	28
3 専任教員年齢構成 (表21)	41

	頁
4 専任教員の担当授業時間 (表22)	42
5 専任教員の給与 (表23)	43
<b>V 研究活動と研究環境</b>	
1 専任教員の教育・研究業績 (表24)	別添『研究者業績一覧』を参照
2 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員) (表25)	別添『研究者業績一覧』を参照
3 専任教員の研究費 (実績) (表29)	44
4 専任教員の研究旅費 (表30)	45
5 学内共同研究費 (表31)	46
6 教員研究費内訳 (表32)	47
7 科学研究費の採択状況 (表33)	48
8 学外からの研究費の総額と一人当たりの額 (表34)	49
9 教員研究室 (表35)	50
<b>VI 施設・設備等</b>	
1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積 (表36)	51
2 主要施設の概況 (表36-2)	52
3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模 (表37)	53
4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模 (表38)	54
5 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表 (表40)	55
<b>VII 図書館および図書・電子媒体</b>	
1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況 (表41)	56
2 図書館利用状況 (表42)	57
3 学生閲覧室等 (表43)	58
<b>VIII 学生生活</b>	
1 奨学金給付・貸与状況 (表44)	59
2 学生相談室利用状況 (表45)	60
<b>IX 財務 (私立大学のみ)</b>	
1-1 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの) (表46)	61
1-2 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの) (表46-2)	62
2 貸借対照表関係比率 (表47)	63
<b>X 情報公開・説明責任</b>	
1 財政公開状況 (私立大学のみ) (表48)	64
2 財政公開状況 (公立大学法人のみ) (表48-2)	65

## I 教育研究組織

### 1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2008年5月1日現在）

（表1）

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
人文学部国際文化学科	平成5年4月1日	宮崎県宮崎市船塚1丁目1番地2	

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。  
2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。  
3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。  
4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならい記載してください。  
5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年4月1日現在）

(表2)

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所在地	備考
人文学部	国際文化学科	800	宮崎県宮崎市船塚1丁目1番地2	
		800		

- [注] 1 申請年（2009年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください（募集停止しているものを含まず）。
- 2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
- 3 申請年度（2009年度）から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に（ ）でその旨を明記してください。
- 6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には（※1）を、申請資格充足年度（完成年度+1年）を経していない学部・学科、研究科・専攻には（※2）を付記し、備考欄に学生受入れ年月を記入してください。
- 7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。
- 8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、記載してください。

## II 教育研究の内容・方法等

### 1 開設授業科目における専兼比率

【前期】

(表3)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人文学部	国際文化学科	共通課程	専任担当科目数 (A)	9.1	7	16.1
			兼任担当科目数 (B)	2.1	0	2.1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	81.3	100.0	88.5
		専門課程	専任担当科目数 (A)	2	30.2	37.8
			兼任担当科目数 (B)	0	13.8	22.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	68.6	63.0

【後期】

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人文学部	国際文化学科	共通課程	専任担当科目数 (A)	1.3	1	2.3
			兼任担当科目数 (B)	1.7	0	1.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	43.3	100.0	57.5
		専門課程	専任担当科目数 (A)	3	33.4	40
			兼任担当科目数 (B)	0	16.6	24
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	66.8	62.5

【旧カリキュラム】

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
人文学部	国際文化学科	共通課程	専任担当科目数 (A)	4	0	4
			兼任担当科目数 (B)	0	0	0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	—	100.0
		専門課程	専任担当科目数 (A)	0	0	0
			兼任担当科目数 (B)	0	0	0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	—	—	—

※共通課程の必修科目は、前期3科目、後期1科目

[注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。

2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めてください。

3 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。

4 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。

5 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。

6 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。

①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。

②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。

7 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください（例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります）。



2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
人文学部	国際文化学科	72	144	0	0	0	2
計		72	144	0	0	0	2
合 計		72	144	0	0	0	2

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。

2 2007年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
人文学部	国際文化学科	7	124	0	0	0	17.7
計		7	124	0	0	0	17.7
合 計		7	124	0	0	0	17.7

- [注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。  
 ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めてください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の特攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」（平成12年文部科学省告示第181号）に定められた学修を記載してください。
- 3 2007年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生はここには含めないでください。

## 4 卒業判定

(表6)

学部・学科		2005年度			2006年度			2007年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
人文学部	国際文化学科	262	213	81.3	243	187	77.0	269	212	78.8
計		262	213	81.3	243	187	77.0	269	212	78.8

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

該当なし

(表7)

## 6 就職・大学院進学状況

(表8)

学 部	進 路	2005年度	2006年度	2007年度	
人文学部	就職	民間企業	147	143	159
		官公庁	4	2	2
		教員	13	11	12
		上記以外	0	0	0
	進学	自大学院	—	—	—
		他大学院	6	6	4
		その他	2	2	0
	そ の 他	41	23	35	
	合 計	213	187	212	

[注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。

2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。

3 専門学校への進学は、「進学（その他）」欄に記入してください。

7 国家試験合格率

該当なし

(表9)

## 8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研究	学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備考
		2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	
	人文学部	16	21	23	440	675	615	413	636	620	25.8	30.3	27.0	
	計	16	21	23	440	675	615	413	636	620	25.8	30.3	27.0	

[注] ここでいう公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。シンポジウム、講演会は含めないでください。

9 学生の国別国際交流

(表11)

国名 学部・研究科	中華人民共和国		大韓民国		ニュージーランド		カナダ		アメリカ合衆国		合計	
	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ
人文学部	2	2	2	2	0	1	0	0	—	—	4	5
計	2	2	2	2	0	1	0	0	—	—	4	5

[注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。

2 学部・大学院研究科ごとに国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。

3 2008年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。



10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表12)

該当なし

### Ⅲ 学生の受け入れ

#### 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	入学定員に対する入学者数の比率(2004～2008年平均)
人 文 学 部	国 際 文 化 学 科	一般入試	志願者	720	1,160	870	851	1,172	108.7
			合格者	225	236	234	253	246	
			入学者(A)	160	162	159	168	166	
			入学定員(B)	150	150	150	150	150	
		A/B*100	106.7	108.0	106.0	112.0	110.7		
	指定校推薦 (宮崎県内のみ)	志願者	76	73	70	58	75	106.4	
		合格者	58	54	54	50	51		
		入学者(A)	58	54	54	50	50		
		入学定員(B)	50	50	50	50	50		
		A/B*100	116.0	108.0	108.0	100.0	100.0		
	社会人入試	志願者	2	3	4	4	1	0	
		合格者	1	1	2	1	0		
		入学者(A)	1	1	2	1	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0	0	0	0	0		
	留学生入試	志願者	5	1	1	4	1	0	
		合格者	4	1	1	4	1		
		入学者(A)	1	1	1	3	1		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0	0	0	0	0		
	帰国生徒入試 (帰国子女入試)	志願者	0	3	1	1	2	0	
		合格者	0	2	0	1	2		
		入学者(A)	0	1	0	0	1		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0	0	0	0	0		
	その他 (中国引揚者等子女)	志願者	0	0	0	0	0	0	
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
入学定員(B)		0	0	0	0	0			
	A/B*100	0	0	0	0	0			
学 科 計	志願者	803	1,240	946	918	1,251	109.5		
	合格者	288	294	291	309	300			
	入学者(A)	220	219	216	222	218			
	入学定員(B)	200	200	200	200	200			
	A/B*100	110.0	109.5	108.0	111.0	109.0			

学部合計	志願者	803	1,240	946	918	1,251	109.5
	合格者	288	294	291	309	300	
	入学者(A)	220	219	216	222	218	
	入学定員(B)	200	200	200	200	200	
	A/B*100	110.0	109.5	108.0	111.0	109.0	
大学合計	志願者	803	1,240	946	918	1,251	109.5
	合格者	288	294	291	309	300	
	入学者(A)	220	219	216	222	218	
	入学定員(B)	200	200	200	200	200	
	A/B*100	110.0	109.5	108.0	111.0	109.0	

[注] 1 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

2 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

3 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

4 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

6 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2004～2008年平均）」欄に記入してください。

7 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

8 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学 部	学 科	入 学 員 定 員	編 入 員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在 籍 学 生 数								備 考
				総 数 (A)	う ち 編 入 学生数 (C)	総 数 (B)	う ち 編 入 学生数 (D)			第 1 年 次		第 2 年 次		第 3 年 次		第 4 年 次		
										学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	
人文学部	国際文化学科	200	—	800	—	917	—	1.15	—	218	1	220	3	215	1	264	1	
計		200	—	800	—	917	—	1.15	—	218	1	220	3	215	1	264	1	
合 計		200	—	800	—	917	—	1.15	—	218	1	220	3	215	1	264	1	

- [注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。
- 3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。
- 4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。
- 5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。
- 6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。
- 7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数						備 考	
			一般入試	指定校推 薦	社会人入 試	留学生入 試	帰国生徒入 試	その他		計
人 文 学 部	国際文化学科	募集定員	150	50	0	0	0	0	200	指定校推薦：宮崎県内の高等学校のみ その他：中国引揚者等子女（平成21年度入学者選抜より募集を廃止）
		入学者数	166	50	0	1	1	0	218	
		計に対する割合	76.1%	22.9%	0%	0.5%	0.5%	0%	100.0%	
合 計		募集定員	150	50	0	0	0	0	200	
		入学者数	166	50	0	1	1	0	218	
		計に対する割合	76.1%	22.9%	0%	0.5%	0.5%	0%	100.0%	

- [注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」（表13）と同様の区分で作成してください。
- 2 各学科および合計欄の下端には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください。
- 3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。
- 5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

## 4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2005年度					2006年度					2007年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
人文学部	国際文化学科	4	1	3	6	14	0	1	0	2	3	2	1	1	4	8
計		4	1	3	6	14	0	1	0	2	3	2	1	1	4	8
合 計		4	1	3	6	14	0	1	0	2	3	2	1	1	4	8

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

該当なし

(表18)

6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数

(表18-2)

該当なし



7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

該当なし

(表18-3)

8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-4)

該当なし

## IV 教員組織

### 1-1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等	専任教員数										助手	備考
	教授		准教授		講師		助教		計			
		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
人文学部 国際文化学科	19	0	12	0	2	0	1	0	34	0	0	
合計	19	0	12	0	2	0	1	0	34	0	0	

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
- 2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。
- 3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください(次ページ記入例参照)。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。

1-2 学部の教員組織

(表19-2)

学部・学科等	専任教員数										助手	設置基準上必要専任教員数	専任教員1人当たりの在籍学生数(表14(B)/計(A))	兼任教員数	備考
	教授		准教授		講師		助教		計(A)						
	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)					
人文学部 国際文化学科	19	0	12	0	2	0	1	0	34	0	0	14	27.0	53	第2種非常勤講師2名
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	12	/	/	
合計	19	0	12	0	2	0	1	0	34	0	0	26	/	53	

※第2種非常勤講師とは、非常勤職ではあるが研究室を設けられており、常に学生の指導を行える立場にある教員

- [注] 1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。たとえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合がこの典型的な例です。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。
- 8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。
- 9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 11 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

該当なし

1-4 専門職大学院の教員組織

該当なし

(表19-4)

## 1-5 事務組織

(表19-5)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	事務局	1	1	0	0	0	0	1
	企画総務課	12	1	5	0	0	6	23
	計	13	2	5	0	0	6	24
大学業務系	事務局	0	0	0	0	0	0	0
	学務課	9	1	1	0	0	7	17
	計	9	1	1	0	0	7	17
合計		22	3	6	0	0	13	41

[注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。

2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。

なお、いずれにも該当しない職員については、「その他」欄に記入してください。

3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。

4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。

5 「助手」は、「教員組織」(表19～表19-4)に記入してください。

※法人業務系の事務局に事務局長(1名)を含めてある。なお、事務局長は企画総務課と学務課を統括する。

2 専任教員個別表

人文学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目								年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	なかべつぶ はるかず 中別府 温和	男	58	1993. 4. 1	1999. 4. 1	国際文化学科	宗教学	2.0						2.0		3.0	—	九州大学 文学部文学研究科博士課程単位取得満期退学 (修士 九州大学 1976年3月)
							哲学・倫理学概論		2.0						2.0			
							ラテンアメリカ研究	2.0						2.0				
								4.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0			
教授	なかやま もとふみ 中山 本文	男	56	1994. 4. 1	2002. 4. 1	国際文化学科	英語A	2.0						2.0		13.5	—	熊本大学大学院文学研究科修士課程修了文学修士
							英語B		2.0					2.0				
							英米文学概論		2.0					2.0				
							比較文学		2.0					2.0				
							英語ⅡB(旧カリ)	2.0						2.0				
							英語ⅢA(旧カリ)	2.0						2.0				
							英語ⅢB(旧カリ)	2.0						2.0				
							異文化実習				2.0			2.0				
							基礎演習Ⅲ			1.0				1.0				
							専門演習Ⅰ				2.0			2.0				
							専門演習Ⅱ			2.0	2.0			2.0	2.0			
							専門演習Ⅲ			2.0	2.0			2.0	2.0			
				8.0	6.0	5.0	6.0	2.0	0.0	15.0	12.0							



教授	たえん しょうじ 田縁 正治	男	55	1993. 4. 1	1998. 4. 1	国際文化学科	文書処理演習 コンピュータ入門 プログラミング入門 プレゼンテーション技術 基礎演習Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	2.0 2.0 2.0		2.0				2.0 2.0 1.0					2.0 2.0 2.0		9.5	—	九州大学大学院 修士課程 理学研究科 博士
教授	かねこ ただみつ 金子 正光	男	53	1993. 4. 1	1999. 4. 1	国際文化学科	表計算ソフト演習 情報科学概論 基礎演習Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	2.0		6.0				6.0 2.0 1.0					2.0 2.0 2.0		9.5	—	九州大学大学院 工学研究科 工学博士（九 州大学）
教授	ながとも たけし 長友 武	男	62	1993. 4. 1	1993. 4. 1	国際文化学科	比較文化基礎講義a 日本文学 日本文化論 講義演習Ⅰ 基礎演習Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	0.7	2.0 2.0 2.0					1.0					2.0 2.0 2.0		8.9	—	慶應義塾大学 文学部大学院 文学研究科国 文学専攻 文学修士
							コミュニケーション 基礎講義b ジャーナリズム論 コミュニケーション 特殊講義 情報編集技術Ⅰ	0.7 2.0 2.0	2.0										0.7 2.0 2.0				

教授	やまもと あきお 山本 明夫	男	60	2008. 4. 1	2008. 4. 1	国際文化学科	情報編集技術Ⅱ	2.0							2.0	—	上智大学文学 部新聞学科 (文学士)
							インターンシップ論	2.0					2.0				
							講義演習Ⅰ	2.0					2.0				
							基礎演習Ⅰ		2.0				2.0				
							基礎演習Ⅱ			2.0			2.0				
							基礎演習Ⅲ		1.0				1.0				
							専門演習Ⅰ			2.0			2.0				
							専門演習Ⅱ		2.0	2.0			2.0	2.0			
							専門演習Ⅲ		2.0	2.0			2.0	2.0			
		6.7	6.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	14.0	13.9							
教授	ひゅー にこる ヒュー ニコル	男	57	1993. 4. 1	2002. 4. 1	国際文化学科	英語A	4.0					4.0			—	米国エバーク リー州立大 学文学部 文学士
							英語B		4.0				4.0				
							アメリカ文化論	2.0					2.0				
							異文化実習					2.0	2.0				
							基礎演習Ⅲ		1.0			1.0					
							専門演習Ⅰ			2.0			2.0				
							専門演習Ⅱ		2.0	2.0			2.0	2.0			
							専門演習Ⅲ		2.0	2.0			2.0	2.0			
									6.0	4.0	5.0	6.0	0.0	2.0	11.0		
教授	やまぐち ゆうじ 山口 裕司	男	54	1993. 4. 1	2002. 4. 1	国際文化学科	国際関係基礎講義a	0.7					0.7			—	大阪大学大学 院法学研究科 法学修士
							環境政治学	2.0					2.0				
							政治学		2.0				2.0				
							講義演習Ⅰ		2.0				2.0				
							基礎演習Ⅰ			2.0			2.0				
							基礎演習Ⅱ				2.0		2.0				
							基礎演習Ⅲ		1.0				1.0				
							専門演習Ⅰ			2.0			2.0				
							専門演習Ⅱ		2.0	2.0			2.0	2.0			
専門演習Ⅲ		2.0	2.0			2.0	2.0										
		2.7	4.0	7.0	8.0	0.0	0.0	9.7	12.0	10.9							

教授	ありま しんさく 有馬 晋作	男	52	2004. 4. 1	2008. 4. 1	国際文化学科	国際関係基礎講義b	0.7						0.7			—	鹿児島大学大学院人文社会科学部 （博士後期課程）政策科学専攻 単位取得満期退学修士（法学）			
							地方自治論	2.0					2.0							2.0	
							日本国憲法		2.0												2.0
							インターンシップ論	2.0													2.0
							講義演習Ⅱ	2.0													2.0
							基礎演習Ⅰ				2.0										2.0
							基礎演習Ⅱ					2.0									2.0
							基礎演習Ⅲ						1.0								1.0
							専門演習Ⅰ							2.0							2.0
							専門演習Ⅱ							2.0	2.0						2.0
専門演習Ⅲ							2.0	2.0				2.0	2.0								
							6.7	2.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	10.0	11.9						
教授	みやもと しょうじ 宮元 章次	男	51	1993. 4. 1	2002. 4. 1	国際文化学科	スポーツ・健康科学概論	2.0						2.0			—	筑波大学大学院修士課程体育研究科 体育学博士			
							スポーツ・健康科学実習					2.0	4.0	2.0	4.0						
							生涯スポーツ実践					2.0	2.0	2.0	2.0						
							総合演習			0.7	0.3			0.7	0.3						
							基礎演習Ⅲ			1.0				1.0							
							専門演習Ⅰ					2.0			2.0						
							専門演習Ⅱ					2.0	2.0			2.0			2.0		
							専門演習Ⅲ					2.0	2.0			2.0			2.0		
						2.0	0.0	5.7	6.3	4.0	6.0	11.7	12.3	12.0							
教授	たなか ひろあき 田中 宏明	男	51	1994. 4. 1	2002. 4. 1	国際文化学科	国際関係基礎講義b	0.7						0.7			—	亜細亜大学経済学研究科 博士後期課程単位取得退学 経済学修士			
							国際関係論	2.0											2.0		
							平和学		2.0											2.0	
							国際政治学		2.0											2.0	
							講義演習Ⅱ	2.0												2.0	
							基礎演習Ⅰ				2.0									2.0	
							基礎演習Ⅱ						2.0							2.0	
基礎演習Ⅲ							1.0				1.0										

							専門演習Ⅰ				2.0			2.0					
							専門演習Ⅱ			2.0	2.0		2.0	2.0					
							専門演習Ⅲ			2.0	2.0		2.0	2.0					
								4.7	4.0	7.0	8.0	0.0	0.0	11.7	12.0	11.9			
教授	かとう あつし 加藤 厚	男	50	1994. 4. 1	2007. 4. 1	国際文化学科	教育心理学Ⅰ		2.0						2.0				
							教育方法		2.0						2.0				
							総合演習			2.0	2.0				2.0	2.0			
							中学校教育実習	}					2.0		2.0				
							高等学校教育実習												
							基礎演習Ⅰ				2.0				2.0				
							基礎演習Ⅱ							2.0				2.0	
							基礎演習Ⅲ				1.0						1.0		
							専門演習Ⅰ								2.0				2.0
							専門演習Ⅱ 【受講者なし】					2.0	2.0				2.0	2.0	
専門演習Ⅲ					2.0	2.0				2.0	2.0								
							0.0	4.0	9.0	10.0	2.0	0.0	11.0	14.0	12.5				
教授	ながまつ あつし 永松 敦	男	49	2004. 4. 1	2007. 4. 1	国際文化学科													
								0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
教授	とだか ゆういち 戸高 裕一	男	49	1993. 4. 1	2003. 4. 1	国際文化学科	CALL A					8.0		8.0					
							英語学特殊講義Ⅱ		2.0							2.0			
							英語音声学		2.0								2.0		
							基礎演習Ⅲ			1.0						1.0			
							専門演習Ⅰ						2.0					2.0	
							専門演習Ⅱ				2.0	2.0				2.0	2.0		
専門演習Ⅲ				2.0	2.0				2.0	2.0									
							0.0	4.0	5.0	6.0	8.0	0.0	13.0	10.0	11.5				

—  
筑波大学大学院心理学研究科（博士課程）  
教育学博士

—  
総合研究大学院大学文化科学研究科博士  
後期課程国際日本研究専攻  
博士（学術）

—  
カリフォルニア大学大学院  
応用言語学科  
応用言語学博士

教授	おおが いくお 大賀 郁夫	男	48	1994. 4. 1	2008. 4. 1	国際文化学科	比較文化基礎講義a	0.7						0.7			九州大学文学 研究科 博士（文学）	
							歴史学	2.0					2.0					
							史料学		2.0					2.0				
							キャリア設計	2.0						2.0				
							講義演習Ⅱ	2.0						2.0				
							基礎演習Ⅰ			2.0				2.0				
							基礎演習Ⅱ				2.0				2.0			
							基礎演習Ⅲ			1.0					1.0			
							専門演習Ⅰ					2.0			2.0			
							専門演習Ⅱ 【受講者なし】			2.0	2.0				2.0	2.0		
専門演習Ⅲ			2.0	2.0				2.0	2.0									
							6.7	2.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	10.0	11.9			
教授	ふくだ みのる 福田 稔	男	47	2002. 4. 1	2006. 4. 1	国際文化学科	英語A	4.0						4.0			イリノイ大学 言語学部大学院 院修了、M.A. in Linguistics	
							英語B		2.0						2.0			
							英語学概論	2.0							2.0			
							現代英文法	2.0							2.0			
							英語学特殊講義Ⅰ		2.0							2.0		
							基礎演習Ⅲ			1.0					1.0			
							専門演習Ⅰ					2.0				2.0		
							専門演習Ⅱ			2.0	2.0				2.0	2.0		
							専門演習Ⅲ			2.0	2.0				2.0	2.0		
														8.0	4.0	5.0		6.0
教授	かわせ たかゆき 川瀬 隆千	男	46	1993. 4. 1	2007. 4. 1	国際文化学科	コミュニケーション 基礎講義a	0.7						0.7			立教大学大学 院文学研究科 心理学専攻博 士課程後期課 程満期退学 文学修士	
							コミュニティ心理学	2.0							2.0			
							社会心理学		2.0							2.0		
							社会心理学Ⅱ (旧カリ)		2.0							2.0		
							ボランティア論	2.0								2.0		
							講義演習Ⅰ		2.0							2.0		
基礎演習Ⅰ					2.0					2.0								

							基礎演習Ⅱ				2.0				2.0							
							基礎演習Ⅲ			1.0			1.0									
							専門演習Ⅰ				2.0				2.0							
							専門演習Ⅱ			2.0	2.0		2.0	2.0								
							専門演習Ⅲ			2.0	2.0		2.0	2.0								
								4.7	6.0	7.0	8.0	0.0	0.0	11.7	14.0	12.9						
教授	ひろせ さとし 広瀬 訓	男	46	2001. 4. 1	2006. 4. 1	国際文化学科	国際関係基礎講義a	0.7						0.7								
							国際機構論	2.0					2.0									
							法学		2.0									2.0				
							キャリア設計	2.0										2.0				
							講義演習Ⅱ	2.0										2.0				
							基礎演習Ⅰ				2.0							2.0				
							基礎演習Ⅱ						2.0						2.0			
							基礎演習Ⅲ						1.0						1.0			
							専門演習Ⅰ									2.0				2.0		
							専門演習Ⅱ								2.0	2.0				2.0	2.0	
								2.0	2.0				2.0	2.0								
								6.7	2.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	10.0	11.9						
教授	つじ としのり 辻 利則	男	45	1993. 4. 1	2008. 4. 1	国際文化学科	コンピュータと数学	2.0							2.0							
							情報通信ネットワーク論	2.0										2.0				
							システム管理	2.0											2.0			
							情報科教育法Ⅰ	2.0											2.0			
							情報科教育法Ⅱ				2.0									2.0		
							高等学校教育実習										2.0			2.0		
							総合演習						0.7	0.3					0.7	0.3		
							基礎演習Ⅲ							1.0						1.0		
							専門演習Ⅰ									2.0					2.0	
							専門演習Ⅱ								2.0	2.0					2.0	2.0
								2.0	2.0					2.0	2.0							
								8.0	2.0	5.7	6.3	2.0	0.0	15.7	8.3	12.0						

—  
国際基督教大学  
大学院  
行政学研究科  
行政学修士

—  
宮崎大学大学院  
工学研究科  
博士（工学）



							6.7	4.0	5.0	6.0	0.0	2.0	11.7	12.0	11.9		
准教授	うめづ けんいちろう 梅津 顕一郎	男	45	2008. 4. 1	2008. 4. 1	国際文化学科	コミュニケーション 基礎講義a	0.7					0.7			—	中央大学大学院 文学研究科 博士課程後期 課程単位取得 満期退学 文学修士
							メディア論	2.0					2.0				
							情報社会学		2.0					2.0			
							ボランティア論	2.0					2.0				
							講義演習Ⅱ	2.0					2.0				
							基礎演習Ⅰ			2.0			2.0				
							基礎演習Ⅱ				2.0			2.0			
							基礎演習Ⅲ			1.0			1.0				
							専門演習Ⅰ				2.0			2.0			
							専門演習Ⅱ			2.0	2.0		2.0	2.0			
							専門演習Ⅲ			2.0	2.0		2.0	2.0			
								6.7	2.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	10.0	11.9	
准教授	びんがむ すこっと ビンガム スコット	男	44	2008. 4. 1	2008. 4. 1	国際文化学科	英語A	8.0					8.0			—	ハワイ大学マ ノア校 修士 課程修了 第二言語とし ての英語 (ESL)
							英語B		6.0					6.0			
							異文化間コミュニ ケーション		2.0					2.0			
							基礎演習Ⅲ				1.0		1.0				
							専門演習Ⅰ				2.0			2.0			
							専門演習Ⅱ 【受講者なし】			2.0	2.0		2.0	2.0			
								8.0	8.0	2.0	5.0	0.0	0.0	10.0	13.0	11.5	
准教授	い ぞんえ 李 善愛	女	44	1998. 4. 1	2007. 4. 1	国際文化学科	比較文化基礎講義a	0.7					0.7			—	国立総合研究 大学院大学文 化科学研究科 文学博士（総 研大甲第302 号）
							比較文化基礎講義b	0.7					0.7				
							韓国文化論	2.0					2.0				
							韓国語Ⅰ	2.0					2.0				
							韓国語Ⅱ		2.0					2.0			
							韓国語Ⅲ	2.0					2.0				
							韓国語Ⅳ		2.0					2.0			
							異文化実習				2.0		2.0				
							基礎演習Ⅲ			1.0			1.0				
							専門演習Ⅰ				2.0			2.0			



							専門演習Ⅱ			2.0	2.0			2.0	2.0				
							専門演習Ⅲ			2.0	2.0			2.0	2.0				
								7.4	4.0	5.0	6.0	2.0	0.0	14.4	10.0	12.2			
准教授	ほりぐち ただし 堀口 正	男	43	2006. 4. 1	2007. 4. 1	国際文化学科	国際関係基礎講義a	0.7						0.7					
							国際協力論	2.0					2.0						
							日本経済論		2.0								2.0		
							インターンシップ論	2.0									2.0		
							講義演習Ⅱ	2.0									2.0		
							基礎演習Ⅰ			2.0							2.0		
							基礎演習Ⅱ					2.0						2.0	
							基礎演習Ⅲ				1.0							1.0	
							専門演習Ⅰ									2.0			2.0
							専門演習Ⅱ					2.0	2.0					2.0	2.0
専門演習Ⅲ					2.0	2.0					2.0	2.0							
								6.7	2.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	10.0	11.9			
准教授	くぼ わか 久保 和華	女	42	1998. 4. 1	2003. 4. 1	国際文化学科	環境経済学	2.0							2.0				
							経済学		2.0								2.0		
							キャリア設計	2.0									2.0		
							講義演習Ⅰ		2.0									2.0	
							基礎演習Ⅰ			2.0								2.0	
							基礎演習Ⅱ					2.0						2.0	
							基礎演習Ⅲ				1.0							1.0	
							専門演習Ⅰ								2.0				2.0
専門演習Ⅱ					2.0	2.0					2.0	2.0							
専門演習Ⅲ					2.0	2.0					2.0	2.0							
								4.0	4.0	7.0	8.0	0.0	0.0	11.0	12.0	11.5			
							国際関係基礎講義b	0.7						0.7					
							社会学	2.0						2.0					
							国際社会学		2.0							2.0			

大阪市立大学  
大学院後期博士課程  
修了  
経済学博士：  
2002年度

九州大学大学院  
経済学研究科  
博士後期課程  
経済学修士



							専門演習Ⅱ			2.0	2.0			2.0	2.0							
							専門演習Ⅲ			2.0	2.0			2.0	2.0							
								6.7	6.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	14.0	13.9						
准教授	すみおか としひろ 住岡 敏弘	男	38	2007. 4. 1	2007. 4. 1	国際文化学科	教師論	2.0						2.0								
							教育の原理と課程	2.0						2.0								
							教育課程と特別活動		2.0								2.0					
							道德教育		2.0								2.0					
							中学校教育実習	}							2.0			2.0				
							高等学校教育実習															
							総合演習							0.7	0.3				0.7	0.3		
							基礎演習Ⅲ							1.0					1.0			
							専門演習Ⅰ									2.0				2.0		
							専門演習Ⅱ								2.0	2.0				2.0	2.0	
専門演習Ⅲ								2.0	2.0				2.0	2.0								
							4.0	4.0	5.7	6.3	2.0	0.0	11.7	10.3	11.0							
講師	さかもと ひろし 阪本 博志	男	33	2006. 4. 1	2006. 4. 1	国際文化学科	コミュニケーション 基礎講義b	0.7						0.7								
							メディア表現論	2.0						2.0								
							出版文化論		2.0								2.0					
							ボランティア論	2.0									2.0					
							講義演習Ⅱ	2.0									2.0					
							基礎演習Ⅰ				2.0						2.0					
							基礎演習Ⅱ					2.0						2.0				
							基礎演習Ⅲ				1.0						1.0					
							専門演習Ⅰ						2.0					2.0				
							専門演習Ⅱ					2.0	2.0				2.0	2.0				
専門演習Ⅲ					2.0	2.0				2.0	2.0											
							6.7	2.0	7.0	8.0	0.0	0.0	13.7	10.0	11.9							
							比較文化基礎講義b	0.7					0.7									
							東南アジア文化論	2.0					2.0									
							文化人類学		2.0					2.0								

—  
広島大学大学院教育学研究科  
修士（教育学）

—  
京都大学大学院文学研究科  
博士後期課程  
研究指導認定  
退学  
京都大学博士  
（文学）

講師	あずま けんたろう 東 賢太郎	男	32	2006. 4. 1	2006. 4. 1	国際文化学科	講義演習Ⅰ	2.0							2.0	—	名古屋大学大学院文学研究科 博士（文学）
							基礎演習Ⅰ		2.0			2.0					
							基礎演習Ⅱ			2.0							
							基礎演習Ⅲ		1.0			1.0					
							専門演習Ⅰ			2.0							
							専門演習Ⅱ	2.0	2.0			2.0	2.0				
							専門演習Ⅲ	2.0	2.0			2.0	2.0				
								2.7	4.0	7.0	8.0	0.0	0.0	9.7	12.0		
助教	もりつ ちひろ 森津 千尋	女	35	2008. 4. 1	2008. 4. 1	国際文化学科	コミュニケーション 基礎講義a	0.7					0.7			—	同志社大学大学院文学研究科 修士（教育学）
							マーケティング・コ ミュニケーション論	2.0					2.0				
							広告論		2.0					2.0			
							講義演習Ⅱ	2.0					2.0				
							基礎演習Ⅰ		2.0				2.0				
							基礎演習Ⅱ			2.0				2.0			
							基礎演習Ⅲ		1.0			1.0					
							専門演習Ⅰ			2.0				2.0			
							専門演習Ⅱ		2.0	2.0			2.0	2.0			
							専門演習Ⅲ		2.0	2.0			2.0	2.0			
	4.7	2.0	7.0	8.0	0.0	0.0	11.7	10.0	10.9								

[注] 1 「Ⅳ 1 全学の教員組織」（表19）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載してください。

2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科の授業科目には△印を付してください。

3 「授業科目」欄については、セメスター制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。

4 「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入してください（例えば1コマ90分の場合は、2時間）。

5 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。

6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。

7 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入してください。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
人文学部 国際文化学科	教授	-	-	1	4	6	7	1	0	0	0	19	
		- %	- %	5.3%	21.1%	31.6%	36.7%	5.3%	0%	0%	0%	100%	
	准教授	-	-	0	0	1	2	5	4	0	0	12	
		- %	- %	0%	0%	8.3%	16.7%	41.7%	33.3%	0%	0%	100%	
	専任講師	-	-	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
		- %	- %	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100.0%	0%	100%
	助教	-	-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		- %	- %	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100.0%	0%	100%
	学部計	-	-	1	4	7	9	6	4	4	3	0	34
		- %	- %	2.9%	11.8%	20.6%	26.5%	17.6%	11.8%	11.8%	8.8%	0%	100%
大学合計		-	-	1	4	7	9	6	4	3	0	34	
		- %	- %	2.9%	11.8%	20.6%	26.5%	17.6%	11.8%	11.8%	8.8%	0%	100%
定年 65 歳													

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。

ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部に準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

#### 4 専任教員の担当授業時間

人文学部（34人）

(表22)

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	13.9 授業時間	13.9 授業時間	11.9 授業時間	10.9 授業時間	1 授業時間 45分
最 低	3.0 授業時間	10.5 授業時間	10.9 授業時間	10.9 授業時間	
平 均	11.1 授業時間	11.8 授業時間	11.4 授業時間	10.9 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」（表19）中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
- 2 「IV 2 専任教員個別表」（表20）で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であることを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「—」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その理由を欄外に付記してください。
- 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

※学長・学部長・附属図書館長・地域研究センター長・学生部長（いずれも教授）はその業務に従事するため、担当授業時間を軽減している。

※最低授業時間数の算出については、懲戒処分に伴う係争中に付き授業を担当させない教員（教授1名）は除く。

## 5 専任教員の給与

(表23)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教授	准教授	講師	助教
人文学部	最低	7,774,941	6,264,730	5,402,769	-
	平均	9,471,078	7,337,340	5,493,545	-

- [注] 1 本「大学基礎データ」作成前年(2007年)1月から12月の1年間を対象として作成してください。  
 2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。  
 3 原則として「IV 1 全学の教員組織」(表19)に掲げた組織の順に作成してください。  
 4 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

### 3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室 等の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備 考
人文学部	15,164,281	15,164,281	33	459,523.7	459,523.7	教員に支給される研究費の総額は22,151千円だが、表30の研究旅費の計6,986,719円を引いた額を記載。
計	15,164,281	15,164,281	33	459,523.7	459,523.7	

- [注] 1 2007年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2007年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額（A）には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。
- 4 本表における専任教員数は、（表34）と一致します。



4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
人文学部	総 額	—	—	—	—	2,367,935	4,618,784	年度当初に各教員に支給される研究費の額内で支出 ・教授：674千円 ・准教授・講師・助教：506千円
	支 給 件 数	—	—	—	—	10	93	
計	総 額	—	—	—	—	2,367,935	4,618,784	
	支 給 件 数	—	—	—	—	10	93	

[注] 1 2007年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」（表29）は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

5 学内共同研究費

該当なし

(表31)

## 6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2005年度		2006年度		2007年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
人文学部	研究費総額	40,142,500	100%	52,201,000	100%	42,448,000	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	21,751,000	54.2%	23,151,000	44.3%	22,151,000	52.2%
		学内共同研究費	—	—	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—	—	—
	学外	科学研究費補助金	6,200,000	15.4%	9,700,000	18.6%	4,940,000	11.6%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	1,200,000	2.8%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	220,500	0.5%	2,730,000	5.2%	0	0.0%
		共同研究費	1,040,000	2.6%	2,720,000	5.2%	1,000,000	2.4%
		その他	10,931,000	27.2%	13,900,000	26.6%	13,157,000	31.0%

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

## 7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2005年度			2006年度			2007年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
人文学部	8	1	12.5	6	2	33.3	11	1	9.1
計	8	1	12.5	6	2	33.3	11	1	9.1

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

## 8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバ ーヘッドの額	その他の学外研 究費総額 (B)	うちオーバ ーヘッドの額	
人文学部	33	4,940,000	630,000	15,357,000	0	20,297,000
合 計	33	4,940,000	630,000	15,357,000	0	20,297,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2007年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2007年度の人数を記入してください。
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。
- 4 本表における専任教員数は、2007年度の教員数であり、(表29)及び(表30)と一致します。

## 9 教員研究室

(表35)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(%) (A/B*100)	教員1人当たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
人文学部	37	3	40	1,307.8	30	66	34	100	30	
計	37	3	40	1,307.8	30	66	34	100	30	

[注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。

2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。

3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。

4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

## VI 施設・設備等

### 1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m <sup>2</sup> )	設置基準上必要 校地面積 (m <sup>2</sup> )	校舎面積 (m <sup>2</sup> )	設置基準上必要 校舎面積 (m <sup>2</sup> )	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m <sup>2</sup> )
101,489m <sup>2</sup>	8,000m <sup>2</sup>	14,182m <sup>2</sup>	4,958m <sup>2</sup>	37	3,217m <sup>2</sup>

[注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。

2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。

3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

2 主要施設の概況

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m <sup>2</sup> )	備考
研究講義棟	講義室、演習室、研究室、 図書館、情報センター等	平成5（1993）年	10,316.8	老朽化のため、外壁改修計画がある （平成20、24年）。
交流センター	多目的ホール、会議室、 茶室、和室等	平成7（1995）年	788.6	
凌雲会館	共同研究室、会議室、 自習室、資料展示室等	平成17（2005）年	1,409.8	
体育館	アリーナ、会議室、 講義室等	平成5年（1993）年	1,524.6	

[注]1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。



3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m <sup>2</sup> ) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 たり面積(m <sup>2</sup> ) (A/B)	備考
人文学部	講義室	13	1,875.5	専用	1,547	917	2.05	
	演習室	20	897.1	専用	333	917	0.98	
	学生自習室	4	444.5	専用	184	917	0.48	
	体育館	1	1,524.6	専用				
	講堂	1	1,484.5	専用	445			

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

- 2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。
- 3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。
- 4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に合わせて記載してください。
- 6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。
- 7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除して算出してください。

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
マルチメディア講義室	2	322.9	128	2.5	人文学部	【再掲】
マルチメディア自習室	3	402.5	123	3.3	人文学部	【再掲】
情報演習室	2	112.3	22	5.1	人文学部	【再掲】
視聴覚室	1	125.6	100	1.3	人文学部	【再掲】
マイクロリーダー	1	18.4	2	9.2	人文学部	
計	9	981.7	375	2.6		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

4 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

【前期】

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
人文学部	1 ~ 30	18	218	66	30.3	
	31 ~ 55	4		47	21.6	
	56 ~ 110	8		75	34.4	
	111 ~ 220	3		30	13.8	
計		33		218	100.0	

【後期】

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	総授業時数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
人文学部	1 ~ 30	18	209	71	34.0	
	31 ~ 55	4		43	20.6	
	56 ~ 110	8		73	34.9	
	111 ~ 220	3		22	10.5	
計		33		209	100.0	

[注] 1 原則として学部ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、総授業時数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業科目の時間数を示します。なお、使用率は、(使用度数/総授業時数)により算出してください。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

Ⅶ 図書館および図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2005年度	2006年度	2007年度	
附属図書館	99,319	86,330	119	31	5,037	—	3,470	2,887	3,368	
計	99,319	86,330	119	31	5,037	—	3,470	2,887	3,368	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸し出し冊数			備 考
					2005年度	2006年度	2007年度	2005年度	2006年度	2007年度	
附属図書館	4 (3)	- ( )	231	月～金 9:00 ～ 20:00	72,800人	68,543人	67,002人	17,641冊	14,135冊	12,540冊	
				土 休 館 日	〔 - 〕	〔 - 〕	〔 - 〕	〔 学生 17,059 教職員 582 〕	〔 学生 13,095 教職員 1,040 〕	〔 学生 11,827 教職員 713 〕	
				日祭日 休 館 日							
				長期休暇中 9:00 ～ 17:00	-	-	-				
				定期試験期間9:00 ～ 21:00							

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを ( ) 内に内数で記入してください。
- 2 年間利用者数・貸出し冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めなくて、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
- 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
- 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸し出し冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、( ) 内に記入してください。

### 3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室 の座席数 ( )	備 考
附属図書館	152	800	19.0	4 (個室研究室)	人文学部
				7 (AVコーナー)	
計	152	800	19.0	11 (個室研究室ほか)	

[注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。

2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。

3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

## VIII 学生生活

### 1 奨学金給付・貸与状況

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数(A)	在籍学生総数(B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額(C)	1件当たり支給額 $C/A$
日本学生支援機構	学外	貸与	472	912	51.8	342,324,000	725,262.71
鹿児島県育英財団	学外	貸与	3	912	0.3	612,000	204,000
宮崎県育英資金	学外	貸与	4	912	0.4	1,584,000	396,000
長崎県育英会	学外	貸与	3	912	0.3	1,260,000	420,000
福岡県奨学金	学外	貸与	1	912	0.1	612,000	612,000
宮崎県奨学会	学外	貸与	1	912	0.1	300,000	300,000
熊本県育英資金	学外	貸与	1	912	0.1	300,000	300,000
曾於市奨学金	学外	貸与	1	912	0.1	300,000	300,000
交通遺児育英会	学外	貸与	1	912	0.1	600,000	600,000

[注] 1 2007年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2005年度	2006年度	2007年度	
学生相談室	—	3	3	126	12:00 ~17:00	396	93	197	2007年度より臨床心理士3名を配置

- [注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。  
 2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。



## Ⅸ 財 務

1－1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

該当なし

（表46）

1 - 2 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの) ※私立大学のみ

該当なし

(表46-2)

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

該当なし

（表47）

X I 情報公開・説明責任

1 財政公開状況（私立大学のみ）

該当なし

（表48）



その他 ( )	貸借対照表								
	損益計算書								
	利益の処分又は損失の処理に関する書類								
	財務状況に関する解説								
	その他 ( )								
	その他 ( )								

- [注] 1 2007年度決算について、地方独立行政法人法第34条4項等に基づき2008年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄うち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2008年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。